

正副2部用意
(審査後、届出受理書と共に副を返却)

二重線で消して訂正すること
(修正液、砂消しは使わない)

記載例

様式第1号の3

景観計画区域内における行為の届出書

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。
この届出書及び添付図書に記載した事項は、事実と相違ありません。

(宛先) 所沢市長

令和8年 4月 1日

届出者は「行為者」であって、「土地所有者」、
「権利者」、「施工会社」ではない

市が届出書を受理した日から30日を経過した
後でなければ、工事着手できない
(例) 1か月が30日の場合

月	火	水	木	金	土	日
1 (受理日)	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1 (30日目)	2 (以降着手)	3	4	5

行為者 住所 所沢市並木〇丁目〇番地の〇
氏 名 株式会社所沢運輸
代表取締役 所沢 ところ子
電話番号 04-XXXXXX-△△△△

法人その他の団体は
電話番号、名称及び

用途地域によってゾーン区分が分かれる
○商業系市街地景観ゾーン
所沢駅、西所沢駅、新所沢駅、小手指駅、
狭山ヶ丘駅、東所沢駅周辺の商業・近隣商業地域
○工業・産業系市街地景観ゾーン
工業地域
○農地・丘陵地景観ゾーン
用途無指定
(並木六丁目の無指定地は住居系市街地景観ゾーン)
○住居系市街地景観ゾーン
上記以外

行為の場所

区域の別

- ☐ 住居系市街地景観ゾーン
☐ 商業系市街地景観ゾーン
☐ 工業・産業系市街地景観ゾーン
☒ 農地・丘陵地景観ゾーン

地名地番

所沢市宮本町〇丁目〇番〇、同番△

対象地番を全て記載

行為の期間

着手予定日

令和8年 5月 2日

完了予定日

令和9年 12月 25日

区分

☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 移転 ☐ 外観の変更

- ☐ 修繕
☐ 模様替
☐ 色彩変更

用途

① 倉庫業を営む倉庫
② 守衛所

高さ

① 28.5
② 2.3m

階数

① 4
② 1 階

敷地面積

19,850.79
m²

建築面積

6,990.95
m²

延べ面積

27,550
m²

の

種

類

為 ☒ 建築物

☐ 工作物

工業・産業系大規模建築物の該当の有無

※「工業・産業系大規模建築物」とは、工場・倉庫等の用途に供する建築物で、建築面積3,000㎡以上のもの又は高さが10mを超えるものをいう。

☒ 該当 ☐ 非該当

「該当」にチェックをする

区分

☐ 新設 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 移転 ☐ 外観の変更

- ☐ 修繕
☐ 模様替
☐ 色彩変更

用途

高さ

築造面積

m

m²

届出対象となる工作物
(高さ10mを超えるもの)
が無ければ記載不要

複数棟ある場合は
このページを棟ご
とに作成する

倉庫

行 為 の 種 類	建 築 物 ・ 工 作 物	第一立 面 方角 (西)	彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	色 相	明 度	彩 度	割 合 単位 (%)	割合はマン セルごとの 記載又は基 調色及び強 調色ごとの 合計を記載
						5.0Y	8.0	0.5	57.71	
						5.0Y	6.5	0.5	18.64	
						5.0B	4.0	1.0	17.76	
						N	6.0		3.27	
						10.0B	6.0	4.0	0.41	
						10.0B	5.0	10.0	0.13	
			屋 根	5.0PB	6.0	1.0	屋根は割合 の算定不要			
			点 滅 光 源					☐ 有	☒ 無	
			屋 外 広 告 物					☐ 有	☒ 無	
		彩色が施され ていない部分	素材名	コンクリート、アルミサッシ(シルバー)、ステンレス			2.08	100		
				素材でも黒や茶等の色の選択が可能なのは、彩色があるものとして扱う						
		第二立 面 方角 (南)	彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	色 相	明 度	彩 度	割 合 単位 (%)	建築物に屋 外広告物が ある 場 合 は、「有」に チェックし 割合を記載
						5.0Y	8.0	0.5	38.48	
						5.0Y	6.5	0.5	24.51	
						5.0B	4.0	1.0	24.03	
						N	6.0		8.56	
						10.0B	6.0	4.0	0.55	
						10.0B	5.0	10.0	0.42	
			屋 根	5.0PB	6.0	1.0				
点 滅 光 源				☐ 有	☒ 無					
屋 外 広 告 物				☒ 有	☐ 無	0.68				
彩色が施され ていない部分	素 材 名	コンクリート、アルミサッシ(シルバー)、ステンレス			2.77	100				
		計								
第三立 面 方角 (東)	彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	色 相	明 度	彩 度	割 合 単位 (%)	強調色の割合の 合計は各面で 5%以下とする		
				5.0Y	8.0	0.5	47.66			
				5.0Y	6.5	0.5	17.70			
				5.0B	4.0	1.0	18.85			
				5.0YR	8.5	1.0	9.66			
				N	6.0		1.66			
				10.0B	6.0	4.0	2.90			
	10.0B	5.0	10.0	0.32						
	屋 根	5.0PB	6.0	1.0						
	点 滅 光 源					☐ 有	☒ 無			
屋 外 広 告 物				☐ 有		☒ 無				
彩色が施され ていない部分	素 材 名	コンクリート、ステンレス			1.25	100				
		計								
第四立 面	彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩	基調色	色 相	明 度	彩 度	割 合 単位 (%)			
				5.0Y	8.0	0.5	40.47			
				5.0Y	6.5	0.5	26.70			
				5.0B	4.0	1.0	27.58			
				N	6.0		2.64			
				10.0B	5.0	10.0	0.03			
				強調色						

		方角 (北)		屋 根	5.0PB	6.0	1.0		
			点 滅 光 源		☐ 有	☒ 無			
			屋 外 広 告 物		☐ 有	☒ 無			
			彩色が施されていない部分	素 材 名	コンクリート、ステンレス				2.58
			計						100

- 備考 1 該当する□内に、印を付すこと。
- 2 彩色が施されていない部分の素材名の欄には、外観を仕上げる素材が、着色していない石、土、木、レンガ及びコンクリート等の場合にその素材名を記載すること。

色彩基準に該当する建材等（一般的な建材以外で注意を要するもの）

- 彩色されている建材（ガルバリウム鋼板、アルミ型材、カラーベストコロニアル等）
- 玄関扉や倉庫のシャッター等
- 既製品の駐輪場やゴミ置場

色彩基準に該当しないもの

- 外壁等：着色していない石、土、木、レンガ、コンクリート等の素材
：ピロティ（駐車場等）で外壁がないもの
- 屋根：彩色していない金属材又は素焼瓦等の素材で仕上げているもの

大規模修繕等の外観の変更で施工対象外の部分がある場合は、「彩色が施されていない部分」に「当該部分名称（施工対象外）」と記載した上で、「彩色が施されていない部分」の割合に当該部分の割合を含める

（例）タイル（施工対象外）

工業・産業系大規模建築物に該当しない棟については、敷地の存する景観ゾーンの色彩基準を適用する

複数棟ある場合はこのページを棟ごとに作成する

守衛所

行 為 の 種 類	建 築 ・ 工 作 物	第一立 面 方 角 (西)	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	割 合 単位(%)	強調 合計 5%以上	
					基調色	5.0YR	7.5	0.5			65.84
					補助色	5.0YR	3.0	3.0			17.39
					強調色	5.0PB	2.0	1.0			1.86
					屋 根						
			点 滅 光 源			☐ 有	☒ 無				
			屋 外 広 告 物			☐ 有	☒ 無				
			彩色が施されていない部分		素 材 名	ガラス			14.91		
			計								100
			第二立 面 方 角 (南)	彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度		割 合 単位(%)
		基調色				5.0YR	7.5	0.5	65.38		
		補助色				5.0YR	3.0	3.0	17.39		
		強調色				5.0PB	2.0	1.0	2.01		
		屋 根									
		点 滅 光 源			☐ 有	☒ 無					
		屋 外 広 告 物			☐ 有	☒ 無					
		彩色が施されていない部分		素 材 名	ガラス			15.22			
		計							100		
		第三立 面 方 角 (東)		彩色が施されている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	割 合 単位(%)	
			基調色			5.0YR	7.5	0.5	77.23		
			補助色			5.0YR	3.0	3.0	12.63		
			強調色								
			屋 根								
			点 滅 光 源			☐ 有	☒ 無				
屋 外 広 告 物			☐ 有	☒ 無							
彩色が施されていない部分			素 材 名	ガラス			10.14				
計							100				
第四立 面 方 角 (北)	彩色が施されている部分		色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	割 合 単位(%)			
		基調色		5.0YR	7.5	0.5	81.85				
		補助色		5.0YR	3.0	3.0	18.15				
		強調色									
		屋 根		5.0PB	6.0	1.0					
	点 滅 光 源			☐ 有	☒ 無						
	屋 外 広 告 物			☐ 有	☒ 無						
	彩色が施されていない部分		素 材 名								
	計							100			

強調色の割合の合計は各面で5%以下とする

補助色の割合の合計は各面で20%以下とする。また、強調色と補助色の割合の合計も20%以下とする

備考 1 該当する□内に、印を付すこと。

2 彩色が施されていない部分の素材名の欄には、外観を仕上げる素材が、着色していない石、土、木、レンガ及びコンクリート等の場合にその素材名を記載すること。

景観形成基準対応説明書
工業・産業系大規模建築物の建築等に関する景観チェックシート(各景観ゾーン共通)

照合欄は無記入で届出

行為の場所	区域の別	1. 住居系市街地景観ゾーン 2. 商業系市街地景観ゾーン 3. 工業・産業系市街地景観ゾーン 4. 農地・丘陵地景観ゾーン	照合
	地名地番	所沢市宮本町〇丁目〇番〇、同番△ 対象地番を全て記載	☐
行為の種類	建築物の建築等	1. 新築 2. 増築 3. 改築 4. 移転 5. 外観の変更 建築確認申請と同様の区分にする	5—1. 修繕 5—2. 模様替 5—3. 色彩変更
			☐
勧告・変更命令基準		所沢市ひと・まち・みどりの景観計画の色彩基準に適合している。	☐

- ※ 1 該当する項目、配慮した項目に○又は内容を記入すること。（複数可）
2 照合欄には、記入しないこと。

建築の企画構想において、下の4つ視点を踏まえて検討する
（設計時における自己チェック）

景観形成基準への対応の検討にあたって

所沢市ひと・まち・みどりの景観計画における「景観づくりの視点」を踏まえ、検討するものとする。
（詳しくは「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」P28～P32を参照。）

景観づくりの視点
（「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」より抜粋）

視点1 周辺の景観や景観資源の保全・活用

周辺の景観の特性や、みどり、河川、眺望などのとことこ景観資源を含む景観上重要な要素を守り、活かす計画を構想します。

視点2 周辺からの見え方への配慮

遠景・中景や近景、それぞれの見え方や、施設の計画によって周辺の景観がどのように変化するかを予想し、全体として調和のとれた景観づくりを構想します。

視点3 地域への貢献

みどりやにぎわいの創出など、地域のまちづくりに寄与する景観づくりを構想します。

視点4 時間の経過への配慮

一日の時間や天候の変化、四季の移ろいといった時間の経過に対する配慮や、時間の積み重ねによって、より良くなる景観づくりを構想します。

該当する具体的内容に丸を付す
その他の場合は、具体的な配慮内容を記載

照合欄は無記入で届出

配慮事項			配慮した具体的内容※1	※2 照合
配置	□ 住居系市街地景観ゾーン	とことこ景観資源と調和させる。 対象外の欄には斜線を付す	1. 景観資源に面して緑地を設けている。 2. 景観資源に面してゆとりを設けている。 3. その他()	□
		壁面の位置の連続性や隣棟間隔の確保等、周辺の街並みと調和させる。	1. 壁面の位置を連続させている。 2. 隣棟間隔を確保している。 3. その他()	□
		既存の樹木は、できるだけ残すような建築物の配置とする。	1. 既存の樹木を残している。 2. 既存の樹木と同じ樹種を植えている。 3. その他()	□
	□ 商業系市街地景観ゾーン	とことこ景観資源と調和させる。	1. 景観資源に面して緑地を設けている。 2. 景観資源に面してゆとりを設けている。 3. その他()	□
		壁面の位置の連続性や隣棟間隔の確保等、周辺の街並みと調和させる。	1. 壁面の位置を連続させている。 2. 隣棟間隔を確保している。 3. その他()	□
		中高層建築物は、敷地に植栽を設けて圧迫感を抑える。	1. 敷地境界を植栽している。 2. 壁面を後退している。 3. その他()	□
	□ 工業・産業系市街地景観ゾーン	とことこ景観資源と調和させる。	1. 景観資源に面して緑地を設けている。 2. 景観資源に面してゆとりを設けている。 3. その他()	□
		壁面の位置の連続性や隣棟間隔の確保等、周辺の街並みと調和させる。	1. 壁面の位置を連続させている。 2. 隣棟間隔を確保している。 3. その他()	□
		既存の樹木は、できるだけ残すような建築物の配置とする。	1. 既存の樹木を残している。 2. 既存の樹木と同じ樹種を植えている。 3. その他()	□
	☑ 農地・丘陵地景観ゾーン	とことこ景観資源と調和させる。 その他の場合は、具体的な配慮の内容を記載	1. 景観資源に面して緑地を設けている。 2. 景観資源に面してゆとりを設けている。 3. その他(景観資源の北側道路街路樹と調和するように、北側道路沿いに高木を植樹する。)	□
		現状の地形を活かした土地利用に努め、造成による地形の変更は最小限にとどめる。	1. 現状の地形を活かしている。 2. 造成は最小限にとどめている。 3. その他()	□
		既存の樹木は、できるだけ残すような建築物の配置とする。	1. 既存の樹木を残している。 2. 既存の樹木と同じ樹種を植えている。 3. その他()	□
		敷地境界から後退した配置とする。	1. 敷地境界から十分後退している。 2. 敷地境界から後退し、圧迫感を抑える工夫をしている。 3. その他()	□
形態意匠	外壁・屋根等	光沢のある素材、反射する素材の使用や、過度なパターン・柄等による壁面構成は避ける。	1. 光沢のある素材や反射する素材は使用していない。 2. 過度なパターンや柄等の壁面デザインは使用していない。 3. その他()	□
		壁面の後退や分節・分割、屋根の形状の工夫等により、長大で単調な壁面構成は避けるとともに、圧迫感を与えない壁面構成とする。	1. 形態・デザインで分節・分割している。 2. 壁面上部や屋根形状を工夫している。 3. その他(外壁の色分けにより、単調さの緩和を図るとともに、色分けの明度差を小さくすることで、圧迫感の軽減を図った。)	□

配慮事項			配慮した具体的内容※1	※2 照合
形態意匠	外壁・屋根等	複数の施設を計画している場合は、施設群のまとまりや統一感のある形態・色彩とする。	1. 各施設の形態やデザインを統一している。 2. 各施設の色彩を統一している。 3. その他()	☐
	屋外設備等	建築物との一体化やルーバー等の設置による遮蔽等により、目立たないよう工夫する。	1. 見えない位置に配置している。 2. 目隠しを設置している。 3. その他(植栽で遮蔽をしている)	☐
		屋根に太陽光パネルを設置する場合は、低反射の素材の使用や目立たない位置、色彩とする。	1. 低反射の素材のものとしている。 2. 目立たない位置に設置している。 3. その他()	☐
	外構・植栽	道路や河川等に面する部分は、みどりの創出やオープンスペースの確保等を図る。	1. 道路等に面する部分に植栽を設けている。 2. スペースや庭を設けている。 3. その他()	☐
		敷地境界に塀・柵等を設ける場合は、落ち着いた色彩のものとする。	1. 落ち着いた色彩のある色彩の塀・柵としている。 2. 自然素材を活かした塀・柵としている。 3. その他()	☐
		擁壁や法面を設置する場合は、圧迫感を与えないよう、形態の分節・分割や表面の仕上げを工夫する。	1. 形態を分節している。 2. 緑化の活用や仕上げの工夫をしている。 3. その他()	☐
		敷地の外周部は、中高木の連続した植栽等により緩衝緑地を設ける。	1. 中高木を植栽している。 2. 生垣を設けている。 3. その他()	☐
		敷地内の資材置き場等の周囲には、周辺と調和する塀・柵や植栽の設置等により、調和を図るよう工夫する。	1. 塀・柵は落ち着いた色彩のものとしている。 2. 資材置き場等の周囲に植栽を設けている。 3. その他()	☐
	屋外広告物	壁面に表示する屋外広告物は、企業名の表示等、必要最小限の数・大きさとするとともに、大きさや形をそろえ、設置位置を集約する。	1. 必要最小限の大きさとし、形状に配慮している。 2. 必要最小限の数で、集約化を図っている。 3. その他()	☐
		外壁を大きく使った電光やデジタルサイネージ等による表示は避ける。	1. 電光やデジタルサイネージは使用していない。 2. 周辺に配慮し、最小限の部分で使っている。 3. その他()	☐
		独立して設置する屋外広告物は、必要最小限の大きさとし、広告面とともにポール等の工作物の色彩に配慮する。	1. 必要最小限の大きさとしている。 2. 落ち着いた色彩としている。 3. その他()	☐
	照明	屋外に設置する照明は、照度等が周辺に影響しないよう工夫し、点滅又は動光による光源は使用しない。	1. 点滅光源は使用していない。 2. 周辺への影響に配慮し、高い照度等のものは使用していない。 3. その他()	☐
	色彩	主要な部分は、極端な高明度及び低明度の色彩の使用を避け、周囲のみどりと調和させる。	1. 基調色は中明度及び低彩度のものを使用している。 2. 基調色は周辺を考慮している。 3. その他()	☐
		周辺のみどりとなじみ、街並みと調和するよう、屋根や外壁、その他の工作物、舗装等は、穏やかなやすらぎの感じられる低彩度色とする。	1. 敷地内の建築物、工作物及び舗装の色を周辺と調和させている。 2. 敷地内の建築物、工作物及び舗装は低彩度のものとしている。 3. その他()	☐

配慮事項			配慮した具体的内容※1	※2 照合
形態意匠	色彩	強調色を使用する場合は、節度あるものとなるよう配慮し、できるだけ低層部に集約する。	1. 強調色を低層部のみに使用している。 2. 極端に高彩度の強調色は使用していない。 3. その他()	☐
		外壁の基調色に複数の色を使用する場合は、明度差をできるだけ抑える。	1. 隣り合う色の明度差を小さくしている。 2. 中明度を使用し、配色のバランスに配慮している。 3. その他()	☐

委任状

私は、景観 太郎を代理人と定め、下記に関する
権限を委任します。

代理人

住所 所沢市〇〇町△△番地の□

氏名 景観 太郎

電話番号 04-□□□□-▽▽▽▽

記

景観法、所沢市ひと・まち・みどりの景観条例及び所沢市ひと・まち・みどりの景観条例施行規則並びに所沢市ひと・まち・みどりの景観計画に基づく行為の届出等に関する一切の権限

行為の場所：所沢市宮本町〇丁目〇番〇、同番△

対象地番を全て記載

(例) 所沢市宮本町〇丁目〇番〇、同番△
所沢市並木□-□-□、-△

令和 8 年 3 月 3 1 日

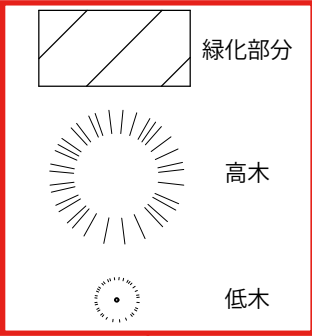
申請人

住所 所沢市並木〇丁目〇番地の〇

氏名 株式会社 所沢運輸
代表取締役 所沢 ところ子

建築概要		
対 象 地：所沢市並木〇丁目〇番地の〇		
敷地面積：19,850.79㎡		
建築面積：6,990.95㎡		
延べ面積：27,550㎡		
〇倉庫業を営む倉庫		
建築面積：6,985.49㎡		
延べ面積：27,544.54㎡		
〇守衛所		
建築面積：5.46㎡		
延べ面積：5.46㎡		

工業・産業系大規模建築物
該当部分を明確にする



緑化の状況・
配置等を明示

敷地境界の
外構を明示

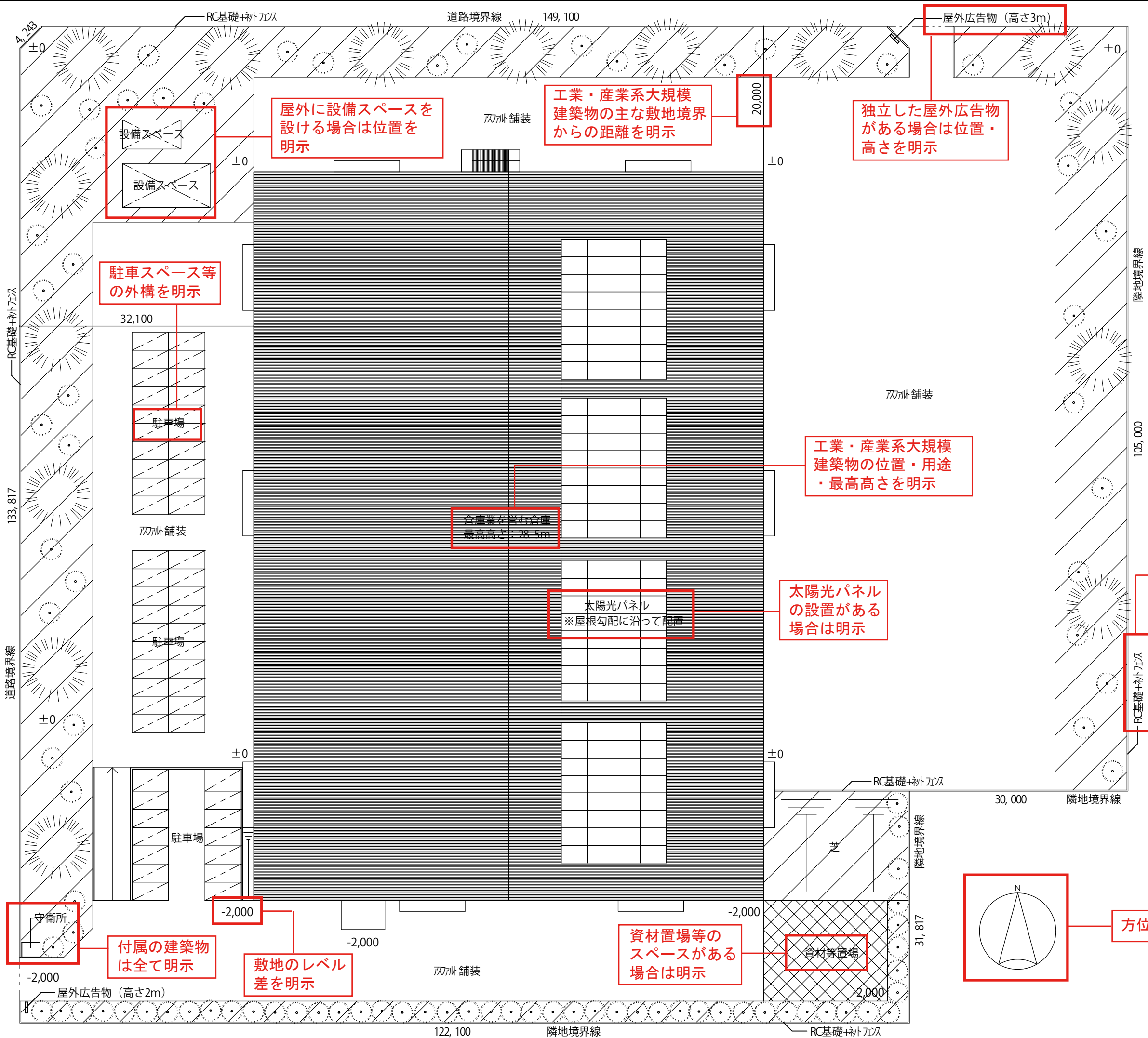
方位を明示

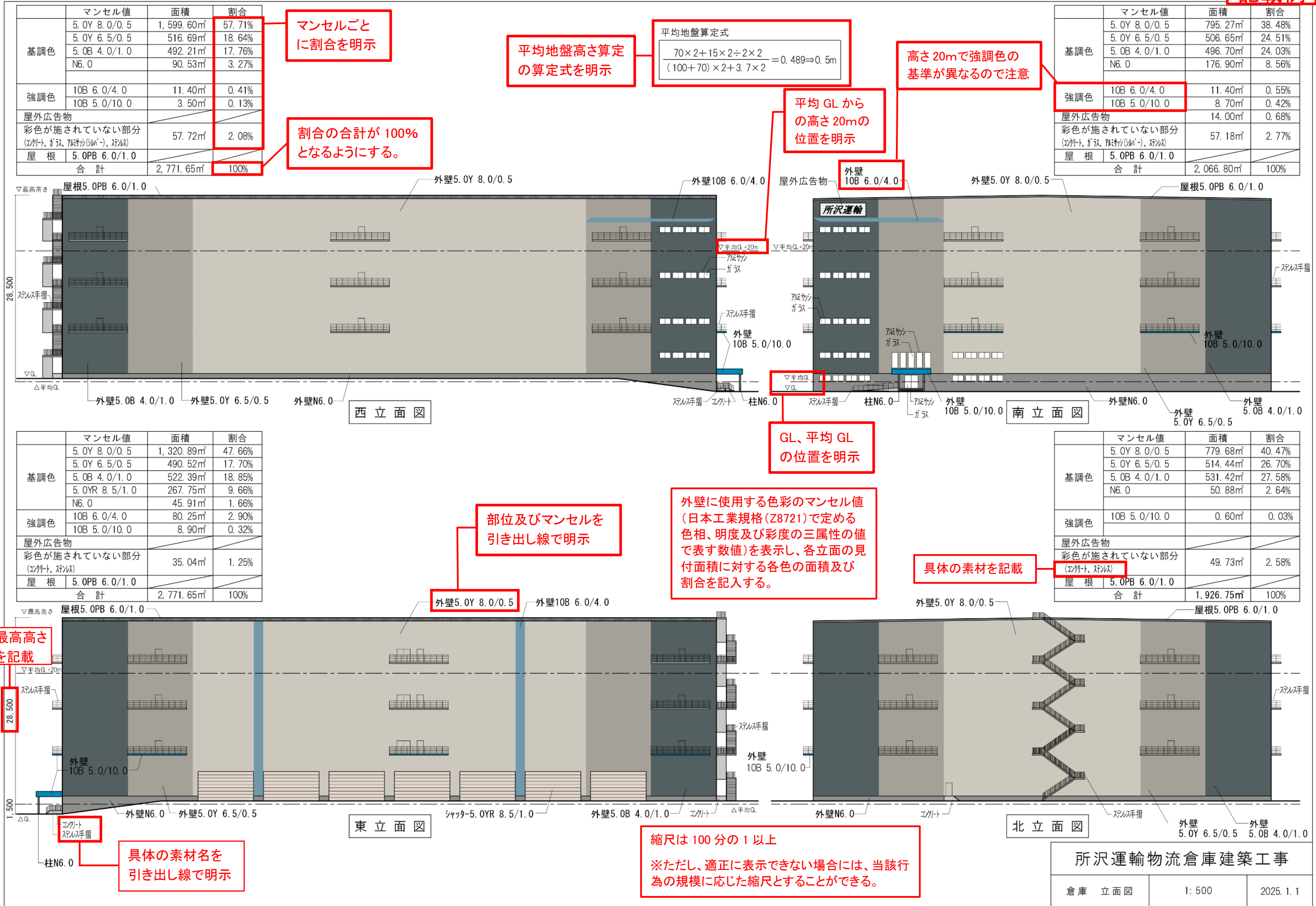
所沢物流倉庫建築工事

配置図

1: 500

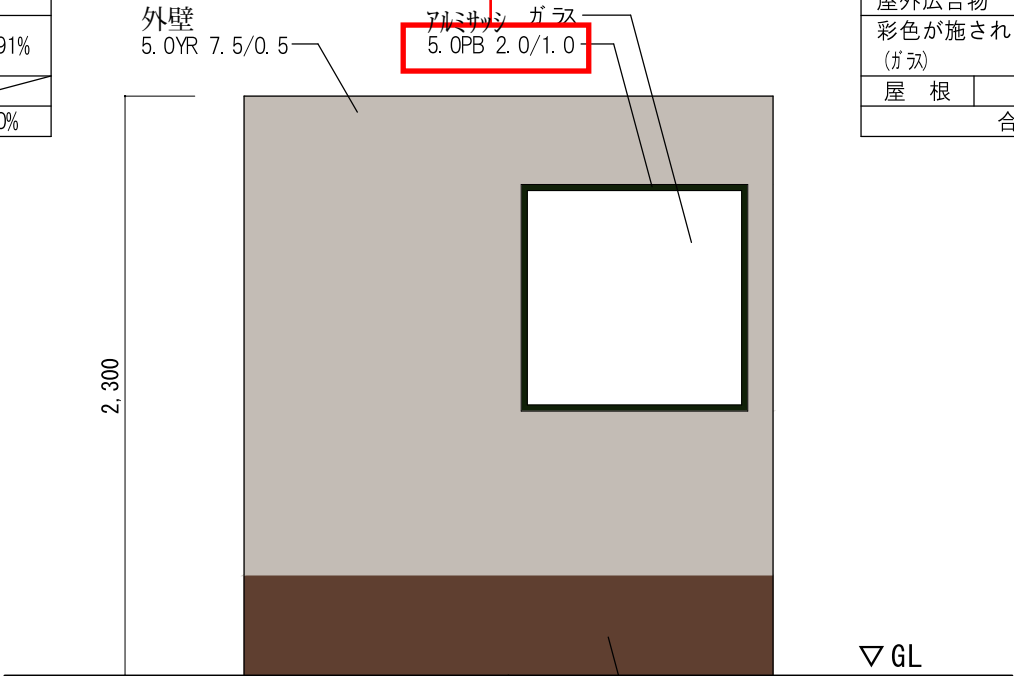
2025. 1. 1





	マンセル値	面積	割合
基調色	5. 0YR 7. 5/0. 5	3. 18㎡	65. 84%
補助色	5. 0YR 3. 0/3. 0	0. 84㎡	17. 39%
強調色	5. 0PB 2. 0/1. 0	0. 09㎡	1. 86%
屋外広告物			
彩色が施されていない部分 (ガラス)		0. 72㎡	14. 91%
屋 根			
合 計		4. 83㎡	100%

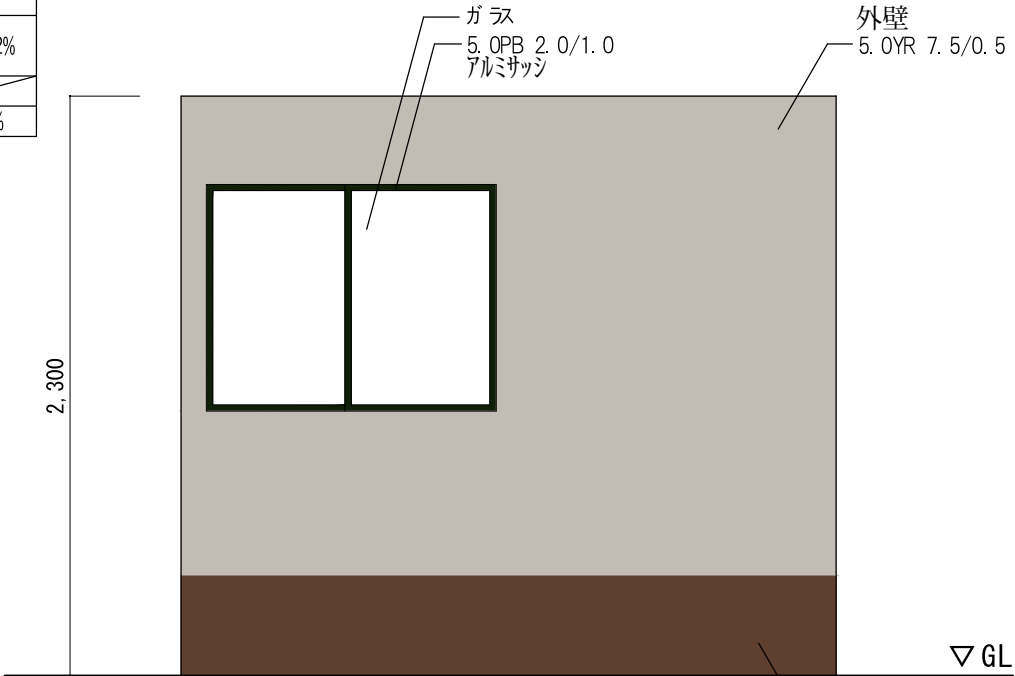
アルミサッシでも、
黒や茶等の色味がある
場合は色彩基準を適用



西立面図

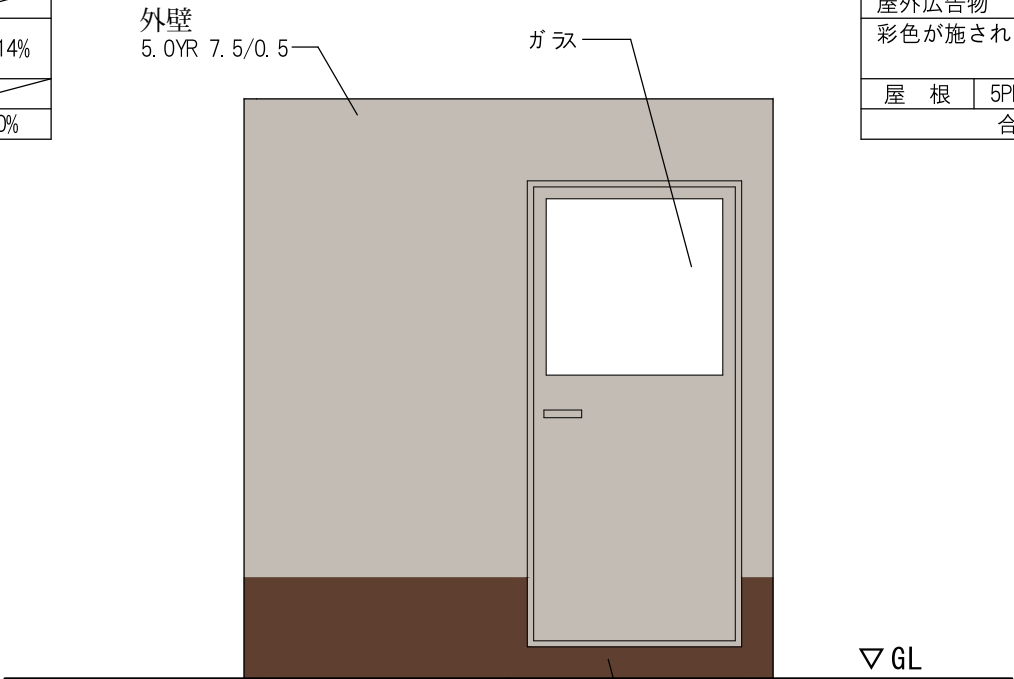
	マンセル値	面積	割合
基調色	5. 0YR 7. 5/0. 5	3. 91㎡	65. 38%
補助色	5. 0YR 3. 0/3. 0	1. 04㎡	17. 39%
強調色	5. 0PB 2. 0/1. 0	0. 12㎡	2. 01%
屋外広告物			
彩色が施されていない部分 (ガラス)		0. 91㎡	15. 22%
屋 根			
合 計		5. 98㎡	100%

補助色の割合と強調色
の割合の合計は20%以下
とする



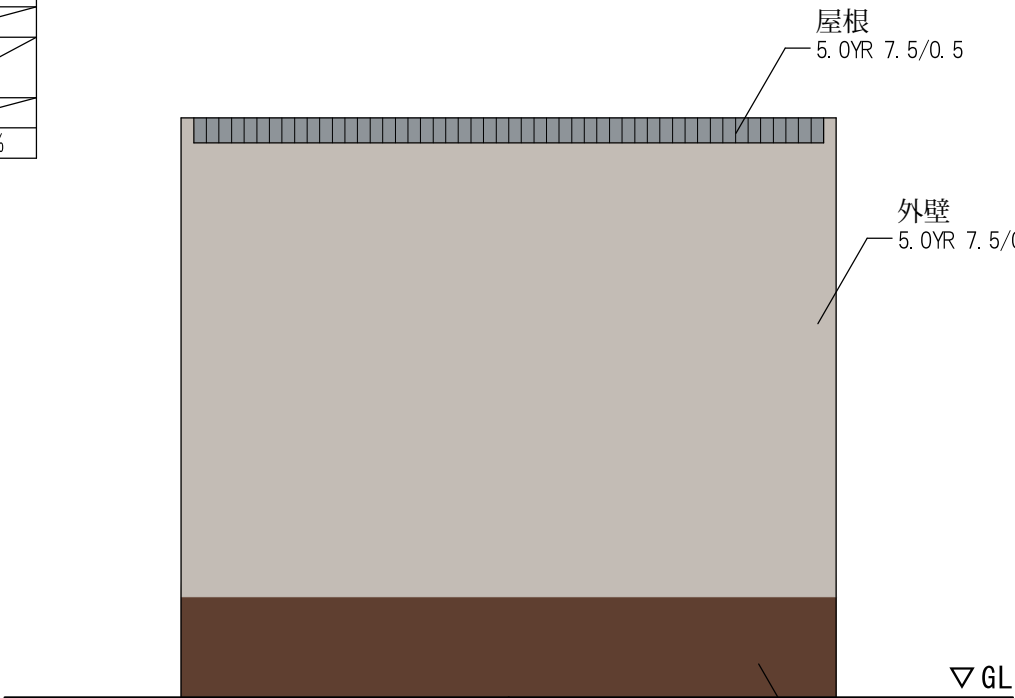
南立面図

	マンセル値	面積	割合
基調色	5. 0YR 7. 5/0. 5	3. 08㎡	77. 23%
補助色	5. 0YR 3. 0/3. 0	0. 61㎡	12. 63%
強調色			
屋外広告物			
彩色が施されていない部分 (ガラス)		0. 49㎡	10. 14%
屋 根			
合 計		4. 83㎡	100%



東立面図

	マンセル値	面積	割合
基調色	5. 0YR 7. 5/0. 5	4. 69㎡	81. 85%
補助色	5. 0YR 3. 0/3. 0	1. 04㎡	18. 15%
強調色			
屋外広告物			
彩色が施されていない部分 (ガラス)			
屋 根	5PB 6. 0/1. 0		
合 計		5. 73㎡	100%



北立面図